

フィリピン学校視察報告

フィリピンの公立学校は6月に新学期が始まり、3月に終わる。4月～5月は夏休み期間である。今回は、この夏休み期間に学校訪問を行った。

1校は『Bright Academy』である。この学校は裕福な層が多く暮らす山の手にあり、ヨーロッパ、アメリカ、韓国、中国から移ってくる生徒が入りやすいように普通の公立学校より1ヶ月遅い7月から始まり4月に修了する。それで今回5月でも学校が開かれていた。

この学校は1991年に幼稚園からスタートした私立の学校だが、人気を呼んで今では17歳までの教育をしている。すこしでもわが子によき教育をと願うのはどこの国も同じである。幼稚園は2歳半から4歳半のクラスは16人までで、4歳半から6歳半は18人までで、いずれも先生は2人体制である。エアコンが教室に2台備えていることも特徴にしている。コンピューターの授業は年長さんから始まる。食堂(Canteen)はかなりしゃれていて、生徒は前払いで利用できる。



もちろんセキュリティーもしっかりしていて、不審者は一切入れない体制になっている。警備員が門に常時いるのはフィリピンでは公立でも同じだが、もっと一人一人の出入りに厳しくしている。

もう1校は歴史の古い『Sandiego Dance Arts Studio』で、『Summer Dance Workshop』を見学した。こちらは一般の家庭から生徒が来ている。バレエ、ジャズ、ヒップホップダンスなど多様性に富んでいる。2階にあるスタジオは壁の上部がオープンエアになっていて、エアコンの設備はない。月謝は1,000ペソで、2,100円位である。

フィリピンではダンスや音楽の教育は大変盛んである。これは、海外に行ける技術を身につける為である。医学部や看護学部も大変人気があるのは、やはり海外を目指している人が多い為である。昔にくらべて学歴が格段と高くなっている国であるが、頭脳流出が盛んな国でもある。それによりなかなか国の経済が発展しない。日本も教育水準の一層の向上とその人材活用が大事ではないだろうか。

校長 勝山ひとみ

個別指導と夏期講習

最近特に、『TOEICのスコアを800点にする』、『編入試験合格』、『将来の為に英語を得意にする』などと目的をはっきり持った方の入会が増えています。他のスクールよりも『あぜりあ』なら出来そうだと選んでいただけて嬉しく思います。普段は一般の英会話や茅ヶ崎方式を習っている方でも、夏期を使って、個別レッスンを追加できます。特に、中学生、高校生は夏期講習をほとんどの方が受講されています。個別に対応しますので、マネジャーまたは担当講師ご相談ください。